

宮城県色麻町

持続可能な未来をつくる、色麻のいま。

2021.08.01

Vol.

2

August, 2021

第 2 号
隔月 1 日発行

しかま支え合い 情報誌



特集

賑わい創り やってみよう!

しかままちづくりの会は、
町を活性化したいという
気持ちで溢れている。



交流の拠点「かっぱ笑会」を管理する加美商工会色麻支部事務局の村田さん(左)と早坂さん。

人々が交流できる 拠点が必要

「いろいろなやったねえ」感慨深そうに語るのは、「やってみよう！しかままちづくりの会」会長の早坂祥悦さん(七一)。「加美郡の中で、色麻だけが有志のまちづくり団体がなくてね。色麻もやってみようと思っ、平成二十八年に立ち上げました」。当初は商工会の有志を中心に十七名でスタート。今では二十二人の会員がいます。会を立ち上げた後、早坂さんは東京で行われたコミュニティビジネス講習を受講しました。そこで、他のまちには人が交流する拠点が、そこを中心にして、そこに生まれていることに気付きました。「色麻にも必要だと思っ、町に言っってみたのね」。すると、町から以前タバコ店だった建物を紹介されました。



復興マルシェに参加した際の記念写真。

拠点から生まれる アイデア続々

建物は早速商工会で借り受けることに。コミュニティの拠点にすべく、町のマスコット河童に因んで「かっぱ笑会」と名付けられました。会のメンバーはそこに集まって、時には飲みながら色々なことを語り合いました。「みんなで楽しみながら話すといろんなアイデアが生まれるんだよね」とその言葉のとおり、たくさんの企画が生まれました。



SDGs 目標 8

岩沼市の復興マルシェへの参加や手作りマツプ製作の他、かっぱ夜市という大きなイベントも実現することができました。「会員の皆さんは町を活性化させたい気持ちで溢れる人ばかりだから、みんな協力的で自主的に動いてくれる」と早坂さんは嬉しそうに語ります。会員の皆さんの町を想う気持ちが実り、夏の終わりの恒例行事となりました。

かっぱ夜市の様子。会場のにぎわいが伝わってきます。



コロナ禍でもつながりを切らない にぎわいづくりへの情熱

しかし、色麻町にもコロナ禍がやってきました。町の行事が次々と中止になり、世の中も自粛ムードになっていました。

そんな中でも、会員の皆さんのまちづくりへの情熱は冷めることなく、飲食店応援企画として「かつぱ夕市」を開催しました。飲食店のメニューをテイクアウトで楽しめるというもので、たいへん好評でした。

「これからみんなで知恵を出し合って、にぎわいを創っていきたいと思います」と早坂さんは語っていました。



コロナ対策もしっかりと。



かつぱ笑会は、お茶つこ会に、ちよつとした休憩にどなたでもご利用できます。八月中には、もう整備され、パソコンがあればリモートワークも可能に。ちよつとしたコワーキングスペースにもなります。

貸切の際は、日中500円、夜間500円、終日1000円で利用可能。詳しくは、加美商工会色麻支所（0229-65-4384）まで。



イベントの運営は、まちづくりの会の皆さんがボランティアで。



地域の活動情報をお寄せください！ 生活支援コーディネーターの菅原が伺います！

こんにちは！色麻町生活支援コーディネーターの菅原一杉です！

皆さんの地区で地域のために活動されている方や地区での活動、お茶飲み会や各種ものづくり等の情報がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

生活支援コーディネーターの菅原が取材にお伺いし、支え合

情報誌にてご紹介させていただきます。

支え合い情報誌は、町内全戸配布の他、町外・県外の施設にも配布されます。

皆さんの地区の活動が、町内外の地域を活性化するヒントとなり、よりよい社会づくりに貢献していきましょう。ご協力よろしくお願いします！

【連絡先】

TEL:0229-65-2260 FAX:0229-66-1713
E-mail:shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

EYE'S



ふれあいは一と訪問始まります!! 今年度は9・10・12・3月です。

昨年度、コロナ禍でも高齢者の皆さんのつながりを切らないようにと始まった「ふれあいは一と訪問」ですが、今年度も始まります。

今年度は七十五才以上の一人暮らしの方を対象に、九月・十月・十二月・三月にお届けいたします。

またお会いできます

ことを、協力員・スタッフ一同楽しみに行きます。

今年度も「ふれあいは一と訪問」をよろしくお願いたします。



このマークが目印です。

色麻のコミュニティ紹介

おさがりすっぺい会

おさがりすっぺい会は、お母さんたちの間で、「おさがりし合っているととても助かるし、おさがりを通してママ同士が仲良くなれるね」という会話の中から生まれました。子ども服はすぐにサイズアウトします。それをシェアすることで、お母さんたちの輪が町全体に広がっていくといいですね。

以前行われた子ども服のおさがりすっぺい会で余った服は、「古着でワクチン」に寄付され、発展途上国の小児ワクチンに生まれ変わりました。

次回
(絵本)
は8月
1日か
っぱ笑
会で行
われま
す。



民生委員OB会



民生委員OB会は、結成5年目、会員は6名で、月一回のペースで開催しています。民生委員として活動されていた時の楽しかったことや大変だったことなど、思い出話を語り合いながら、交流を深めています。会費の3,000円は、1,600円が場所代、残りの1,400円は積み立てて旅行代にしています。コロナ禍が始まってからは旅行へはいけないそうです。コロナが終わってみんなで旅行に行ける日が待ち遠しいですね。

色麻町老人クラブ連合会

老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織です。仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉の向上に努めることを目的とします。教養講座・交通安全教室などの行事、ペタンク・グラウンドゴルフ・パークゴルフなどのスポーツ大会の他、研修旅行・演芸大会等のレクリエーションもあり、会員の皆さんは、元気にいきいきと活動されていて、様々な地域の方々との交流を楽しんでおられます。



6/14(月)に行われたペタンク大会の様子

新入会員募集中！新クラブ結成も支援します！

色麻町老人クラブ連合会では、新入会員募集中です。入りたくても自分の住む地区にクラブがないという方でも、新クラブ立ち上げの支援も行っております。

ご興味のある方は、お知り合いの会員の方に相談されるか、色麻社協(0229-65-2260)までお問い合わせください。事務局におつなぎいたします。

しかま支え合い情報誌 vol.2

発行：社会福祉法人色麻町社会福祉協議会

〒981-4122 宮城県加美郡色麻町四竈字杉成 27-2

TEL：0229-65-2260 FAX：0229-66-1713

E-mail：shikama.shakyo@vesta.ocn.ne.jp

URL：http://www.shakyo.or.jp/hp/287/

しかま支え合い情報誌は、色麻町生活支援体制整備事業の一環として発行しています。